

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2002-242938 (P2002-242938A)

【公開日】平成 14 年 8 月 28 日 (2002.8.28)

【出願番号】特願 2001-40406 (P2001-40406)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 33/46

【F I】

F 1 6 C 33/46

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 28 日 (2004.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

以上のことから、保持器強度の面では  $F(d, t, r) = 0.07 \times dm + 50$  が良く、 $F(d, t, r) = 0.07 \times dm + 43$  がさらに良い。

また、軸受寿命の面では  $F(d, t, r) = 0.07 \times dm + 20$  が良く、 $F(d, t, r) = 0.07 \times dm + 30$  がさらに良い。

なお、図 12 で x 印は、ポケット隅部を図 15 に示したような曲率半径  $R_c$  (第 1 タイプで 0.2 mm、第 2 タイプで 0.6 mm) を有する形状としたときの  $F$  を示す。これらのタイプでは、上記好ましい範囲より関数  $F$  が大きい値をとる。